

水辺調査

水辺の
安全教室

カヌー体験

自然体験

清掃活動

環境学習会

自然観察会

森・植物を
守る

地域づくり

オー エム ズィ ケー
O M Z K

OMZK
とは

大淀川水辺の楽校に在来植生を回復させる会

O M Z K



ミヤコグサで吸蜜する
シルビアシジミ

沿革

2012年春～2014年春、国絶滅危惧Ⅰ類・県絶滅危惧Ⅱ類に指定されている希少な蝶シルビアシジミの調査を、小丸川と大淀川の河川敷において、宮崎河川国道事務所と宮崎昆虫同好会が共同調査を行った。その結果、大淀川本流の河川敷では本種が減少していることが明らかになった。そこで、シルビアシジミを含む大淀川の自然な生態系を大淀川水辺の楽校に回復するために、宮崎大学農学部、大淀川学習館、宮崎市公園緑地課、宮崎河川国道事務所と宮崎昆虫同好会からなる「大淀川水辺の楽校に在来植生を回復する会（OMZK）」を2014年9月に立ち上げた。

現在は、除草時期の変更により、ジョンソングラスなど外来植物が繁茂する環境から、チガヤの中にシルビアシジミの食草であるミヤコグサが生えるような環境の回復に取り組んでいる。

基本情報

■団体名

OMZK

(大淀川水辺の楽校に在来植生を回復させる会)

■事務局

宮崎昆虫同好会 小松孝寛

■設立

平成26年9月1日

■E-mail

info@miyakon.com

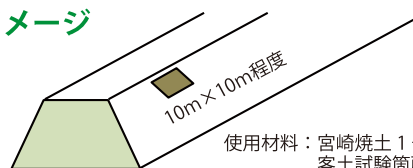
■組織

- ・宮崎河川国道事務所
- ・宮崎市公園緑地課
- ・大淀川学習館
- ・宮崎大学農学部
- ・宮崎昆虫同好会

活動内容

・客土薪き

イメージ



使用材料：宮崎焼土1号50袋
客土試験箇所を囲う木杭・トラロープ

活動の様子



夢

大淀川水辺の楽校の環境を、大淀川河川敷に昔から生息する植物や昆虫が見られるようにすることで、シルビアシジミの安定した越冬場所にしたい。